

まごころ通信

Vol.38 2009 2月

Sincerity correspondence

「麻しん」・「風しん」について

麻しん

麻しん（はしか）は感染力が非常に強く、子どもの病気と思われがちですが、大人でも感染し発症します。

感染経路：空気感染・飛沫感染・接触感染

潜伏期間：10日前後

症状：カタル症状（鼻汁、咳、結膜充血、眼脂等）とともに39℃以上の高熱や麻しん特有の発疹が全身に広がります。

合併症：気管支炎、肺炎、中耳炎、脳炎など。脳炎は1,000人に2人の割合で発生がみられます。

また、数年から10数年後に亜急性硬化性全脳炎（SSPE）という重い脳炎を発症することがあり、重篤な場合には死に至ることもあります。

風しん

麻しんと比べると症状は軽く、3日ほどで治るので「3日ばしか」とも呼ばれます。麻しんとあわせて予防を行いましょう。

感染経路：飛沫感染

潜伏期間：2～3週間

症状：かゆいかぜ症状ではじまり、発疹、発熱、頸部リンパ節腫脹など。

合併症：関節炎、脳炎など。

妊婦さんが妊娠初期にかかると胎児に感染して先天性風しん症候群（難聴、先天性心疾患、白内障及び網膜症など）が発生することがあります。妊娠の可能性がある方が予防接種を受けるときは注意が必要です。

麻しん風しん混合ワクチンを接種しましょう

◆幼児期の定期接種◆

麻しん、風しんに対する免疫を確実に獲得するために、平成18年に予防接種法が改正され、幼児期に麻しん風しん混合ワクチンを2回接種することになりました。

麻しん風しん混合ワクチン



	対象者	接種期間
第1期	生後12～24か月未満	1歳の誕生日から2歳の誕生日の前日まで。
第2期	小学校就学前1年間（年長児）	小学校に就学する前年の4月1日から小学校に就学する年の3月31日まで。

◆中学1年生と高校3年生の定期接種◆

平成19年に高校生や大学生に麻しんが流行しました。幼少期に1度しか予防接種を受けていない方や受けそびれていた方が多く、予防効果が低かったことが原因とも言われています。そのため、平成20年4月から5年間に限り、中学1年生と高校3年生の年齢に相当する方に定期予防接種が行われることになりました。



<平成20年度対象者>

	対象者	接種期間
第3期	中学1年生に相当する年齢の者 (平成7年4月2日～平成8年4月1日生まれ)	平成20年4月1日～平成21年3月31日まで (4～6月での接種が勧められています)
第4期	高校3年生に相当する年齢の者 (平成2年4月2日～平成3年4月1日生まれ)	

<平成21年度以降の対象者>

	第3期（中学1年生に相当する年齢の者）	第4期（高校3年生に相当する年齢の者）
平成21年度	平成8年4月2日～平成9年4月1日生まれ	平成3年4月2日～平成4年4月1日生まれ
平成22年度	平成9年4月2日～平成10年4月1日生まれ	平成4年4月2日～平成5年4月1日生まれ
平成23年度	平成10年4月2日～平成11年4月1日生まれ	平成5年4月2日～平成6年4月1日生まれ
平成24年度	平成11年4月2日～平成12年4月1日生まれ	平成6年4月2日～平成7年4月1日生まれ

予防接種について、ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

【問合せ】 健康福祉課（城里町常北保健福祉センター内） ☎029-240-6550 保健師まで

次回のみごころ通信は、広報しろさと4月号に掲載予定です。